

マイクロチップ用小型蛍光検出器(研究・品質管理用)

～ポータブル検出器でどこでも分析～

名古屋大学 工学研究科 教授 馬場嘉信、研究員 笠間敏博
浜松ホトニクス株式会社

▶〈関連ページ〉14、35、36ページ

狙い 蛍光検出を利用した生化学的分析は、非常に高感度な手法として幅広く行われている。また、マイクロ流路をベースとしたラボオンチップ技術に関する研究開発は世界中で精力的に進められている。しかし、多くのラボオンチップ研究者が、蛍光の検出を蛍光顕微鏡に依存しており、マイクロチップが研究室内でしか使用できない原因となっている。本製品は、蛍光顕微鏡に匹敵する高感度な蛍光検出技術を有しながら、高い可搬性を持っており、マイクロチップを利用したその場分析・ベッドサイド分析を可能にする。

用途 イムノピラーデバイスの蛍光強度を測定する。検体中のバイオマーカーをベッドサイドで定量することを可能にし、迅速な診断を実現する。

特長

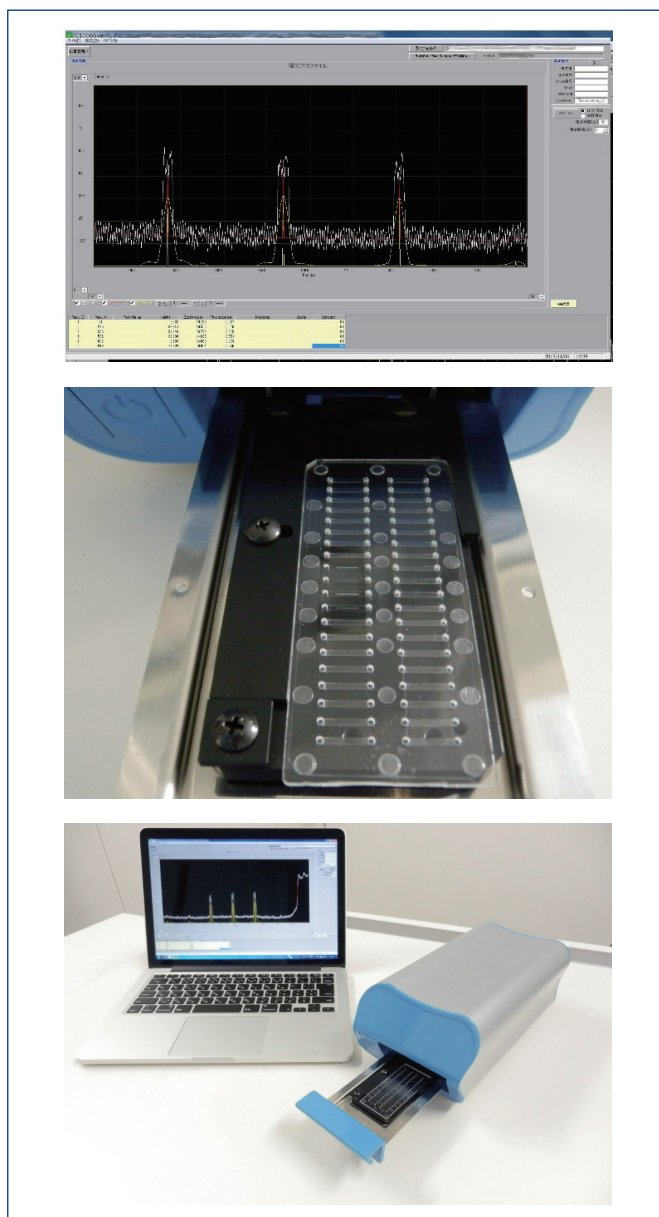
- 軽量(2kg)で高い可搬性。
- 低価格で高感度な蛍光検出が可能。
- 光学系はユーザーのニーズに合わせてカスタマイズ可能。

仕様

外寸/W:130×H:95×D:260mm

重量/2.1kg

その他/電源電圧:100-240Vac、消費電力:3W



- お問い合わせ/浜松ホトニクス株式会社 電子管事業部 第1開発G 主任部員 長谷川寛
e-mail: yutaka@etd.hpk.co.jp 電話番号: 0539-62-3151 FAX: 0539-62-5005
- 特許の有無: PCT/JP2007/073294